

学校法人 トヨタ学園

豊田工業大学

2025-2026

足跡のなから
進む方へ



実践的な技術者・研究者を育成する大学

建学の理念

研究と創造に心を致し、
常に時流に先んずべし

学修と研究を通じ
社会に貢献する力を。



豊田 佐吉

トヨタ自動車の社会貢献活動の一環として設立された本学は、日本の産業技術開発の父ともいえる豊田佐吉の遺訓を建学の理念に掲げ、先端的な工学研究を通じた新たな価値創造と社会への還元、社会の課題に率先して挑む実践的な技術者・研究者の育成を使命としています。

工学は、その成果を社会で活用するという意思を持った学問です。現代社会の課題に立ち向かう人には、工学の専門的能力に加え、論理的な思考力や協調性といった汎用的な能力も必要となります。工学の基礎・専門科目はもちろん、人文・社会科学や外国語の科目も幅広く学ぶことができるのが、豊田工業大学です。学修と研究を両輪とする人材育成に取り組み、世界的な問題の解決に貢献する実践的な技術者・研究者を送り出します。



豊田工業大学 学長
保立 和夫

長期ビジョン2024-2038

教育・人材育成

国際産業リーダーの育成

新たな挑戦

個を輝かせる

- 豊田工大メソッドの確立・実践：深く考え、理解する学修・研究の徹底
- 多様な経験を促す機会・環境：教養教育や学外活動を通じた人間力育成

特徴・強みの錬磨

- 分野横断型の履修体系
- 豊富な国際化プログラム など

研究・成果の社会還元

地球課題の解決

新たな挑戦

研究成果を社会実装につなげる研究者集団の構築

- トータルな研究レイヤーの整備
- 世界レベルの研究成果を目指す積極的なアクション
- 魅力と活力にあふれる博士課程への飛躍
- 若手研究者の発掘と環境整備

恵まれた環境の活用

- 最新の施設、充実した研究機器
- 産業界からの多面的な支援 など

社業繁栄の暁には 大学を設立したい

トヨタ自動車工業(当時)を創業した豊田喜一郎の夢を実現するため、1977年、大学設立に向けて準備を開始。1979年、その中心人物の一人であるトヨタ自動車5代目社長の豊田英二が初代理事長に就任。



豊田 喜一郎 豊田 英二

1981

日本の大学教育に新たな流れを

- 1981年 わが国初の社会人大学として開学
- 1984年 大学院修士課程設置認可
- 1993年 学部・大学院に新卒者の受入開始



大学設立と沿革

1995

教育と研究の高度化

1995年 大学院博士後期課程設置認可

・主担当教授制度
各分野で優れた実績を持つ人材を国内外から教員として採用する「博士後期課程主担当教授制度」を取り入れています。

・豊田中央研究所との連携
豊田中央研究所から客員教授を招き入れ、研究領域の拡充と専門分野の深化・発展を図っています。

2003

国際化と大学教育の質向上

- 2003年 豊田工業大学シカゴ校を開校
- 2003年 南山大学と連携協定締結
- 2010年 愛知大学と連携協定締結
- 2019年 名古屋市立大学と連携協定締結



Toyota Technological Institute
at Chicago

2020

新キャンパス完成、次なるステージへ

- 2020年 新キャンパス完成
- 2021年 開学40周年
- 2024年 「長期ビジョン2024-2038」開始



豊田工業大学のアウトライン ～ユニークな学び

豊田工業大学
12の魅力と
2つの未来



3分野の基礎を広く学び、専門分野を深める

機械システム分野

電子情報分野

物質工学分野

現代の科学技術は、その裾野を大きく広げるとともに、進化のスピードも速まる一方です。こうした現状を捉え、本学では従来の専門分化された研究・教育環境とは異なり、入学当初は専門分野を定めず上記3分野の基礎を広く学び、2年次後期から主専攻を決定して専門性を深めています。



トヨタグループをはじめとした世界的企業で行う学外実習(インターンシップ)

工学を社会につなげるための学びを

本学と産業界とのつながりを生かした「学外実習」を必修科目として開設し、実践力に富む技術者・研究者の育成を目指しています。学部1年次から日本を代表する企業の製造現場を知り、3年次には高度な開発業務に携わることで、工学が社会でどう役立つのかを体験的に理解します。



トヨタ自動車九州(株)での実習

学部・大学院での人材育成

学部と大学院の計9年間にわたる、学修と研究による「人材育成」の課程により、最先端を切り拓く人材を育成しています。学部4年間は基礎固めの期間と位置づけ、工学部卒業生の半数以上が進学する修士課程では、より高度な創造性と研究能力、ならびに論理的思考力をはじめとするさまざまな汎用力の向上を目指しています。博士後期課程では人材育成のファイナルステージとして、世界を先導する技術者・研究者の養成に努めています。



初年次シェアハウス型入寮制

仲間とともにかげがえのない時間を過ごせるのが、学部1年次寮生活の魅力。考え方や生活習慣の異なる学生同士が互いにルールを守り、尊重し合う生活を通じて、豊かな人間性や社会人基礎力を育みます。



久方寮のご案内



豊田工業大学シカゴ校(TTIC)

情報基礎理論分野の博士課程に特化して、シカゴ大学キャンパス内に本学が設立した大学院大学。その後、米国高等教育機関として認証を得て、本学とは姉妹校として連携。現在では機械学習理論の分野で全米トップクラスの評価を受けています。「豊田達郎奨学基金奨学金」などの制度を整えて大学院生を対象にTTICへの留学支援を行っています。

国際交流・海外研修

語学修得だけにとどまらない真の国際交流

豊田工業大学シカゴ校をはじめ、世界各国の大学と交流・単位互換などの連携を行い、研究と教育の国際化を推進。多様な留学プログラムや、留学生と共に暮らす国際寮など、語学力だけではなく、グローバルな時代の技術者・研究者に不可欠な国際感覚を身につけます。



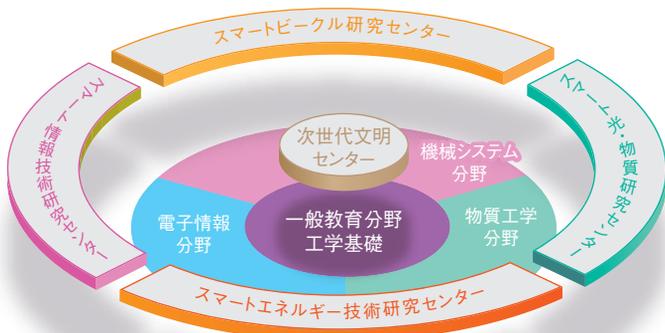
科学技術の新たな可能性を見いだすために

各研究室の
紹介サイト



豊田工業大学の 研究・教育センター

本学では機械システム・電子情報・物質工学を専門とする研究室を設け、それぞれの分野における先端的な研究を通して学術基盤の深化を進めています。これと並行して、分野の異なる研究室間の連携を促す4つの研究センターを設置。また、教育・研究の両機能を併せ持つ人文社会科学系・教養教育系の次世代文明センターも開設しています。



専門的かつ学際的な4分野の研究室

機械システム分野 熱エネルギー工学 / 流体工学 / 固体力学 / 設計工学 / 機械創成 / マイクロメカトロニクス / 総合研究教育ユニット

電子情報分野 半導体 / 機能半導体デバイス / 光電変換デバイス / レーザ科学 / スピントロニクス / 制御システム / 情報通信 / 知能数値 / 知能情報メディア / 知識データ工学

物質工学分野 光機能物質 / フロンティア材料 / エネルギー材料 / 理論物理学 / 数理論理学 / 量子界面物性 / 表面科学 / 高分子化学 / 触媒有機化学 / 機能セラミックス

一般教育分野 人文科学分野 (哲学) / 社会科学分野 (心理学) / 外国語分野 (英語) / 健康・体力分野 / 工学基礎分野 (情報) / ものづくりの科学教育センター (ものづくりの科学研究室)

世界を牽引する研究プロジェクト



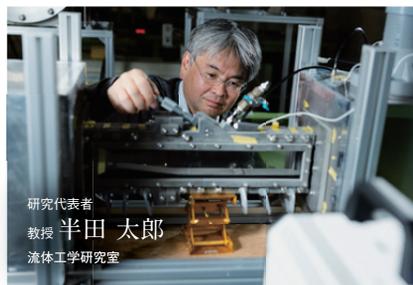
国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

太陽光発電主力電源化推進技術開発
太陽光発電の新市場創造技術開発
移動体用太陽電池の研究開発 (超高効率モジュール技術開発)

●2020～2024年度

脱炭素社会に向け高効率かつ 低コストな太陽電池が走り出す。

自動車排出する膨大なCO₂を削減するには、ガソリンエンジンを電気モーターに置き換えるだけでは不十分です。そこで、電気自動車に高性能の太陽電池を搭載して電力を自給自足させるという研究プロジェクトに複数の大学や企業と共同で取り組んでいます。人工衛星でも使われる高効率の〈III-V族化合物半導体〉と広く一般に利用されている結晶シリコンを積層したタンデム型太陽電池を開発するなど、持続可能な社会の実現に向け、新しい価値の創造に絶えず挑戦しています。



研究代表者
教授 半田 太郎
流体工学研究室



国立研究開発法人
新エネルギー・産業技術総合開発機構

NEDO先導研究プログラム
エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同開発
航空機の高効率・高性能化を目指した気流制御デバイスの国際共同開発
●2023年度開始

航空機の環境性能に革新を起こす デバイスを世界へ羽ばたかせる。

航空機の翼面上には、飛行条件が変わった際に起こる衝撃波の振動を防ぐために、突起(渦発生器)を設置する工夫がされています。しかし、この突起が定常飛行時には空気抵抗となり燃費を悪くします。そこで、定常飛行時には抵抗とならずに必要なときだけ動作する新しい<気流制御用デバイス>を開発し、このデバイスを次世代の航空機に実装することで、「カーボンニュートラル」に貢献します。



創発的研究支援事業
Fusion Oriented Research for disruptive Science and Technology

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
創発的研究支援事業
液晶と金属-有機構造体の異種相間複合化と機能開拓
●2021年度開始

液晶と結晶が融合した 世界初の物質の、 未知なる可能性を拓く。

液晶は結晶と液体の中間の状態のことであり、結晶のような分子の配向性と液体のような流動性を示します。液晶テレビなどの中では、ガラスや高分子からなる容器の中に液晶を入れて使い、容器の界面との相互作用や外場により配向方向を制御できます。我々はナノサイズの孔を持つ結晶を液晶の容器として用いることを着想しました。液晶に由来する高い応答性を持つ結晶の創製を目指しています。



研究代表者
助教 阿南 静佳
高分子化学研究室



研究開発責任者
特任教授 大下 祥雄
半導体研究室

大学概要

トヨタ自動車の社会貢献活動として1981年に日本初の社会人大学としてスタートし、1993年からは一般学生の受け入れを開始。

学部・大学院の構成／2026年度 入学定員・選抜制度

(人)

| 学部・研究科名 | 入学定員 | 選抜試験と募集人員 | | |
|--------------------|--------------------|----------------------------|---------------|-----|
| 工学部 先端工学基礎学科 | 100 | 一般選抜 | 一般入試 | 65 |
| | | | 大学入学共通テスト利用入試 | |
| | | 学校推薦型選抜 | 公募推薦入試 | 17 |
| | | | 指定校推薦入試 | |
| | | 特別選抜 | 帰国生徒入試 | 若干名 |
| 国際バカロレア入試 | | | | |
| 外国政府派遣留学生入試 | | | | |
| 6 | 社会人入試(内編入学試験) | 18(若干名) | | |
| 大学院工学研究科 修士課程 | 50 | 高等専門学校卒業予定者を対象とする第3年度編入学試験 | 6 | |
| | | 一般選抜 | 50 | |
| | | 学部3年次学生を対象とする特別選抜 | | |
| | | 早期卒業予定者対象特別選抜 | | |
| | | 社会人特別選抜 | | |
| 12 | ダブル・ディグリー留学生入学資格審査 | 若干名 | | |
| 大学院工学研究科 博士後期課程 | 12 | 一般選抜 | 12 | |
| | | 社会人特別選抜 | | |
| | | 留学生特別選抜 | | |

在籍学生数 (2025年5月1日現在)

(人)

| 学年 | 学部 | | 大学院修士課程 | | 大学院博士後期課程 | | 合計 |
|----|---------|---------|---------|-------|-----------|-------|---------|
| | 社会人学生 | 一般学生 | 社会人学生 | 一般学生 | 社会人学生 | 一般学生 | |
| 1 | 12(2) | 101(9) | 1 | 46(3) | 0 | 4(1) | 547(56) |
| 2 | 17 | 83(13) | 0 | 50(3) | 0 | 7 | |
| 3 | 14(1) | 121(13) | | | 0 | 2 | |
| 4 | 8(2) | 81(9) | | | | | |
| 小計 | 51(5) | 386(44) | 1 | 96(6) | 0 | 13(1) | |
| 合計 | 437(49) | | 97(6) | | 13(1) | | |

●()内は女子で内数、「社会人学生」は企業在籍者等、「一般学生」に留学生含む

卒業生・修了者数

(人)

| 年度 | 学部 | 修士課程 | 博士後期課程(学位授与) | 合計 |
|------|----|------|--------------|-----|
| 2020 | 89 | 59 | 2 | 150 |
| 2021 | 89 | 46 | 2 | 137 |
| 2022 | 83 | 49 | 1 | 133 |
| 2023 | 94 | 43 | 5 | 142 |
| 2024 | 90 | 50 | 0 | 140 |

教員一人あたりの学生数 (専任教員)



私立大学 平均19.1人 ※
国立大学 平均9.5人 ※

※2024年度学校基本調査に基づく

専任教員数 (2025年5月1日現在)

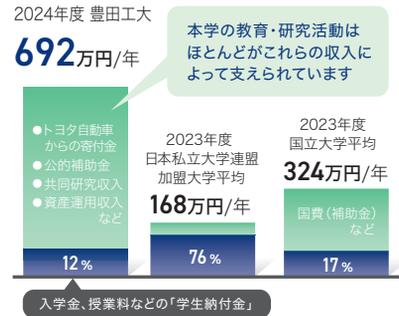
53人 教授 30/ 准教授 14 / 講師 4 / 助教 5
●うち女性教員4人

学校法人 トヨタ学園 / 豊田工業大学役員・役職者

(2025年6月1日現在)

| | | | | |
|---------------|-------|------------|------------------|-------------------------------|
| 学校法人 トヨタ学園 | 理事長 | 増田 彦彦 | 学校法人トヨタ学園 | 理事長 |
| | 学長理事 | 保立 和夫 | 豊田工業大学 | 学長 |
| | 常務理事 | 中川 優 | 学校法人トヨタ学園 | 代表業務執行理事・法人事務局長 |
| | | 中野 義昭 | 学校法人トヨタ学園 | 業務執行理事・副学長 |
| | 理事 | 伊勢 清貴 | トヨタ自動車株式会社 | 元取締役・専務役員 |
| | | 栗原 和枝 | 東北大学 | 未来科学技術共同研究センター シニアリサーチフェロー |
| 豊田工業 大学 | 理事 | 財満 鎮明 | 名城大学大学院 | 教授 |
| | | 進藤 孝生 | 日本製鉄株式会社 | 相談役 |
| | | 暁道 佳明 | 学校法人上智学院・上智大学 | 理事・教授 |
| | | 日比谷 潤子 | 国際基督教大学 | 名誉教授 |
| | 監事 | 福田 修二 | 学校法人トヨタ学園 | 前経理部長 |
| | | 鬼頭 潤子 | 鬼頭潤子公認会計士事務所 | 所長 |
| | 清水 要 | トヨタ不動産株式会社 | 専務執行職 経営管理本部 本部長 | |
| | 瀧田 道代 | 名古屋大学 | 名誉教授 | |
| | 学長 | 保立 和夫 | 副学長 | 大石 泰丈・中野 義昭 |
| | 学生部長 | 齋藤 和也 | 総合情報センター長・附属図書館長 | 齋藤 和也 |
| | 事務局長 | 下村 幸敬 | | |

学生一人あたりの大学支出額 ●2024年度学校基本調査に基づく千円単位を四捨五入



充実の研究・教育環境

学生一人あたりの校舎面積

国内上位クラスの広々とした環境でゆったり学ぶ



(2025年5月1日現在)
●1m未満は四捨五入

国際化

シカゴ大学と連携し、姉妹校・豊田工業大学シカゴ校(TTIC)を設立するなど、世界の有力大学との充実したネットワークを構築。

(2025年5月1日現在)

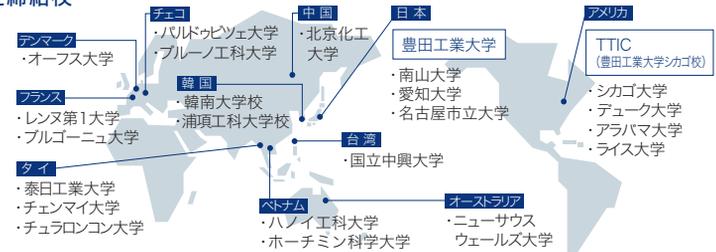
外国人PD研究員の受け入れ実績 (2020~2024年度)(人)

| | | | | | |
|-------|----|--------|---|-------|---|
| インド | 13 | インドネシア | 2 | 韓国 | 2 |
| 中国 | 7 | アルジェリア | 1 | カンボジア | 1 |
| フィリピン | 5 | イラク | 1 | スリランカ | 1 |
| イラン | 3 | ウクライナ | 1 | フランス | 1 |
| エジプト | 3 | オランダ | 1 | ベトナム | 1 |

●2025年5月1日現在のポストドクトラル(PD)研究員数17人(うち外国人研究員14人)

大学間協定締結校

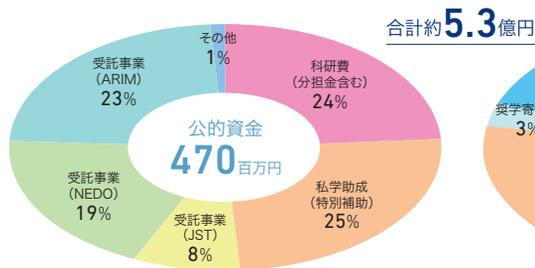
海外 20 大学
国内 3 大学



研究活動

国内トップレベルの研究環境を備え、外部研究機関や企業と積極的に連携して最先端の研究を行っています。

外部からの研究費の内訳 (2024年度実績)



文科科学省科学研究費補助金採択状況 (過去5年間)



研究センター／教育・研究センターと主な研究プロジェクト

| 研究センター | スマートビークル研究センター 2010年設立 センター長 川西 通裕 准教授 | スマートエネルギー技術研究センター 2012年設立 センター長 松波 雅治 准教授 | スマート光・物質研究センター 2017年設立 センター長 藤 貴夫 教授 | スマート情報技術研究センター 2021年設立 センター長 浮田 宗伯 教授 | 教育・研究センター 次世代文明センター 2016年設立 センター長 江口 建 教授 |
|---------------------------------|---|---|--|---|--|
| 経済産業省 (NEDO: 新エネルギー・産業技術総合開発機構) | 太陽光発電主力電源化推進技術開発/太陽光発電の新市場創造技術開発/移動体用太陽電池の研究開発(超高出力モジュール技術開発) 2020~2024年度 大下 祥雄 特任教授 | | NEDO先導研究プログラム/エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発/航空機の高効率・高性能化を目指した気流制御デバイスの国際共同研究開発 2023年度開始 半田 太郎 教授 | | |
| 文科科学省 (JST: 科学技術振興機構) | 創発的研究支援事業 液晶と金属 ― 有機構造体の異種相間複合化と機能開拓 2021年度開始 阿南 静佳 助教 | | マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM Japan) 技術領域: 高度なデバイス機能の発現を可能とするマテリアル 2021年度開始 佐々木 実 教授 | | |

学生生活

学部1年次の寮生活も大学の魅力の一つ。大学独自の無利子奨学金などのサポートにより、安心、充実の学生生活を。

入学初年度の学生納付金と奨学金制度 (学部・修士) (2025年5月現在)

| 学部 | 私立大学 (理工系) | 国立大学 | 標準額 |
|--------|------------|-------|------|
| 豊田工業大学 | 98万円 | 106万円 | 82万円 |

平均169万円 (私立大学)、平均124万円 (国立大学)

●千円単位を四捨五入
 本学: 入学金+授業料+教育充実・環境整備費の合計
 私立大学: 2025年度日本私立大学連盟調査
 国立大学: 文科科学省令で定める入学料および授業料の標準額の合計

■豊田奨学基金奨学金 (無利子)

学費の補てんを必要とする希望学生に対して、審査のうえ奨学金を貸与しています。

| 種類 | 特A種 | 特B種 | 第1種 | 第2種 | 第3種 |
|------|--|-----|-----|-----|-----|
| 交付月額 | 10万円 | 8万円 | 6万円 | 4万円 | 2万円 |
| 条件 | ・利用にあたっては、経済的事情および学業成績などの所定の審査があります。 ・他の奨学金との併用も可能です。 | | | | |

●特A種、特B種は大学院生のみ対象

■大学院博士後期課程奨学金

研究に専念できる本学独自の奨学金制度です。入学金(26万円)・授業料(年額70万円)の全額給付に加え、月額奨学金(15万円または20万円)を選考のうえ給付します。

経済面でも
安心して
学べる環境

就職状況

小さな大学だからこそ可能な、きめ細かな就職支援を。社会人学生から得られる情報があるのも本学の特徴です。

2024年度卒業・修了者の進路 (人)

就職決定率
2024年度
100%

| | 学部 | 修士課程 | 合計 |
|-----------|----|------|-----|
| 就職 | 27 | 46 | 73 |
| 進学 | 53 | 2 | 55 |
| 企業復帰 | 9 | 0 | 9 |
| その他(留学生等) | 1 | 2 | 3 |
| 合計 | 90 | 50 | 140 |

2024年度卒業・修了者の就職先 (企業) 内訳 (社会人学生・企業復帰除く) (人)

| | 従業員数別 | | | | | 資本金別 | | | | |
|----------|----------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|-------|-------|--------|
| | 5,000人以上 | 500人以上 | 100人以上 | 100人未満 | 公務員その他 | 100億円以上 | 10億円以上 | 1億円以上 | 1億円未満 | 公務員その他 |
| 学部 27名 | 21 | 4 | 1 | 0 | 1 | 19 | 5 | 1 | 1 | 1 |
| 修士課程 46名 | 40 | 6 | 0 | 0 | 0 | 35 | 9 | 2 | 0 | 0 |

2024年度卒業・修了者の就職先 (社会人学生を除く)

| 学部 | 27名 | 就職先 | 人数 |
|--------------|-----|-----------------|-----|
| アイシン | (2) | トヨタ自動車九州 | (1) |
| アドヴィックス | (1) | トヨタ自動車東日本 | (1) |
| 住友電気工業 | (1) | 豊田自動織機 | (2) |
| 大同特殊鋼 | (1) | トヨタ車体 | (2) |
| 立花エレテック | (1) | 浜松ホトニクス | (1) |
| 中外炉工業 | (1) | フジキカイ | (1) |
| 東海理化 | (1) | 古河電気工業 | (1) |
| 東芝インフラシステムズ | (1) | MARUWA | (1) |
| 東芝テック | (1) | MARUWA | (1) |
| 東芝デバイス・センシング | (1) | MARUWA | (1) |
| トヨタ自動車 | (4) | 航空保安大学校 (国土交通省) | (1) |

| 修士課程 | 46名 | 就職先 | 人数 |
|------------------------|-----|------------------------|-----|
| アイシン | (3) | 積水化学工業 | (1) |
| ウイングアーク1st | (1) | 千代田化工建設 | (1) |
| 川崎重工 | (1) | TDK | (1) |
| 京セラ | (1) | デンソー | (2) |
| クボタ | (2) | 東海旅客鉄道 (JR東海) | (2) |
| 興和 | (2) | トヨタ自動車 | (5) |
| Sansan | (1) | トヨタ自動車九州 | (1) |
| シスメックス | (1) | 豊田自動織機 | (5) |
| 島津製作所 | (2) | トヨタ車体 | (2) |
| SCREENセミコンダクターソリューションズ | (1) | トヨタバッテリー | (1) |
| | | 日本電子 (JEOL) | (1) |
| | | 日本電信電話 (NTT研究所) | (1) |
| | | パナソニック | (1) |
| | | パナソニックオペレーションズエレクトロニクス | (1) |
| | | FUJII | (1) |
| | | ブラザー工業 | (1) |
| | | 古河電気工業 | (1) |
| | | 三菱電機エンジニアリング | (1) |
| | | 矢崎総業 | (2) |

ロケーション

最寄駅「相生山駅」へは、名古屋駅から地下鉄 桜通線で約30分。
名古屋市内に位置するキャンパスは周辺都市からのアクセスも良好です。



※表示する時間は、各地の主要駅から本学キャンパスまでのおおよその所要時間です。交通事情等による誤差を含みますのでご了承ください。

入試に関するお問い合わせ、資料請求



入試情報
専用電話

052-809-1716



E-mail nyushi@toyota-ti.ac.jp



ホームページでも
資料請求できます。



資料請求またはデジタルパンフレットの閲覧が可能です。



学校法人 トヨタ学園

豊田工業大学

TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

〒468-8511 名古屋市天白区久方二丁目12-1 TEL (052)802-1111

<https://www.toyota-ti.ac.jp/>

